

ヴァイオリン・リサイタル  
ライナー・キユツヒル

ウィーンの至宝



加藤洋之 (ピアノ)

軽井沢大賀ホール

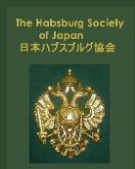
2024.7.20 (土)

開演14:00 (開場13:30)

全席自由¥5,500 (当日¥6,000)

Program

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| ベートーヴェン   | ヴァイオリン・ソナタ第8番ト長調 作品30-3 |
| ブラームス     | ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」 作品78 |
| ショスタコーヴィチ | 4つの前奏曲 作品34             |
| プロコフィエフ   | 「ロメオとジュリエット」からの3つの小品    |
| チャイコフスキー  | 懐かしい土地の思い出 作品42         |
| チャイコフスキー  | ワルツ・スケルツォ ハ長調 作品34      |



オーストリア  
心弾むシンフォニー

◎プログラムは変更になる場合があります。

## プロフィール

ライナー・キュッヒル（ヴァイオリン） Rainer Küchl, violin



オーストリア、ワイドホーフエン・アン・デア・イプス市生まれ。1967年よりソロ活動を開始。ウィーン・フィルをはじめ、ウィーン響、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、NHK交響楽団等のオーケストラ、並びに指揮者ではアバド、ベーム、バーンスタインらと共演。同時に数々のリサイタルや録音を行う。1971年、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任。1982年ウィーン国立音楽アカデミー（現ウィーン国立音楽大学）教授に就任。85年ザルツブルグ州知事より金功労勲章受章。1988年オーストリア共和国より学術、芸術に対するオーストリア名誉十字勲章受章。1994年オーストリア共和国に対する功績として共和国より大名誉勲章を受章。

2001年、ウィーン・フィル創設以来、現役のコンサートマスターとしては初めてウィーン国立歌劇場の名誉会員に選ばれる。2010年11月、日本政府より旭日中綬章を受章。

2016年8月31日をもって45年間務めたウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターを退任。

ウィーン国立音楽大学正教授。現在、キュッヒル・クアルテット、ウィーン・リングアンサンブルリーダー。その他、ソロ活動、審査員などを務める。

オフィシャルホームページ [www.rainerkuechl.com](http://www.rainerkuechl.com)

加藤洋之（ピアノ） Hiroshi Kato, piano



東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学を首席で卒業。「安宅賞」を受賞する。大学院在学中の1990年にジュネーヴ国際音楽コンクール第3位入賞、ハンガリー国立リスト音楽院に留学してイシュトヴァン・ラントシュ氏に師事する。1996年からはケルンに移りパヴェル・ギリロフ氏の下でさらに研鑽を積んだ。

これまでにハンガリー国立響、ブダペスト・フィル、ブルガリア国立放送響、スウェーデン・ヘルシンボリ響、東京都響、日本フィルなど内外のオーケストラとの協演、ウィーン芸術週間、プラハの春、ルセ国際音楽祭、リムーザン室内楽フェスティバル等の音楽祭、BBC、ORF(オーストリア)、スイス・ロマンド放送、ハンガリー国营TV、またウィーン楽友協会、ウイグモア・ホールをはじめヨーロッパの主要ホールへの出演など各地で演奏活動を続けている。

ウィーン・フィルの奏者たちと頻繁に室内楽を演奏し、特にライナー・キュッヒル氏とは1999年以来、国内外において数多くの公演を重ねてきた。2019年にオクタヴィアレコードより初のソロCD「時間から空間へ〜ワグナーへのオマージュ」がリリースされレコード芸術誌で特選盤となる。令和元年度文化庁芸術祭音楽部門「大賞」を受賞。

主催 軽井沢響きの会

お問い合わせ 軽井沢響きの会 080-2015-1226

後援 オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京、オーストリア政府観光局、日本ハプスブルグ協会、軽井沢町、軽井沢町教育委員会、FM軽井沢、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、(公財)八十二文化財団

チケット申込先 大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555  
イープラス <http://eplus.jp>  
軽井沢響きの会 080-2015-1226

チケット発売日 5月7日(火)